

第6回 第2期中海自然再生協議会議事録

日時 平成22年3月6日(土) 13:00~17:00

場所 島根県職員会館 会議室 (松江)

事務局から中海の自然再生実施計画についての素案提案課題の専門家会議による検討状況について資料(別紙)をもとに報告がなされた。その後、個別実施計画についての協議会の判断を受けるために検討がすすんでいる各課題について分科会ごとに報告され、質疑がなされた。

第1分科会 (水辺の保全・再生と汽水域生態系の保全)

No. 19 (旧番号 2, 3, 12 の提案が統合されたもの) については第5回協議会で承認され、個別実施計画に移ることになっていたが、専門家会議のコメントも踏まえて自然再生センターとしての再検討を経て再提案(事業名:彦名処理地および栗島周辺エリアを活用した生物多様性保全と水質浄化事業)に至った経緯と提案内容が報告された(資料)。No. 21 (No. 7 改:弓浜干拓地承水路の環境改善と自然循環型地域社会の構築、自然再生センター鳥取支部)については第5回協議会で承認され、個別実施計画を策定することになり、計画案が説明された(資料)。No. 1 と No. 2 については今回は説明なし)

第2分科会 (水質と底質の改善による環境再生)

No. 5 については第5回協議会で承認され、個別実施計画を策定することになり、計画案が説明された(資料)。

第3分科会 (将来の子ども達と進める環境学習)

No. 9 (中海の自然を楽しむ環境学習) は第4回協議会で承認され、個別実施計画を策定することになり、計画案が説明された(資料)。

「議事要約」

以上を受けて、議事を行った。

1. 素案検討課題の検討状況

各分科会で報告された課題 (Nos. 19, 21, 5, 9) については、それぞれの分科会の報告と討論を踏まえて、了解することとした。No. 8 (ラムサール湿地・中海子どもパークレンジャー) については実施計画(資料)を読み上げ、了解することとした。No. 10 (飯梨川下流域の自然再生とその有効活用を図る事業、自然再生センター安来支部) については2月27日に第4分科会において報告討論が行われたことの報告と実施計画(資料)が説明され、了解することとした。個別実施計画が今回提案されなかった Nos. 1, 16 については次回協議会に引き継ぐこととした。

2. 専門会会議で積み残された素案提案課題について

No. 22 (密度流拡散装置による貧酸素水塊の除去実証実験、ナカシマプロペ

ラ〈株〉およびNo.13（宍道湖中海の貧酸素解消を目指す実験の事業、美見昭光）については専門家会議のコメントについての説明がなされたが、討議の上、分科会をつくってさらに検討することとなった。分科会の世話人については中尾 繁氏が推薦され、承認された。

3. 各分科会の討議状況について

協議会に先立って行われた第1,2,3分科会については報告を省略、2月27日に行われた第4分科会については報告がなされた。

4. 第1期実施計画の期間について

期間を平成22～24年の3年間とする原案が承認された。

5. 今後の進め方

専門家会議の作業は分科会で検討して作成する「個別実施計画案」がある程度できた段階で専門的な見地からコメントすること、時期は平成22年6月ごろとすること、実施計画の策定により専門家会議は終了とすること、その後は個別実施事業を専門家の立場からサポートするため、「アドバイザー委員会」設置すること、その事務はNPO 法人自然再生センターが担当することが提案され、承認された。

報告

第7回協議会を平成22年5月22日（土）として計画案の検討、実施計画素案の検討を行う予定であることが報告された。

その後については、第8回、7月10日、実施計画の採択、第9回10月、個別事業の実施状況報告、第10回平成23年3月、同実施状況報告、第3期協議会へ向けた準備として第2期を終了するとの展望が示された。